

前回会議以降に事務局へ寄せられた意見一覧

1 基本構想 第2章

該当か所	意 見	事務局での対応
基本構想 第2章	<ul style="list-style-type: none"> 第4次総合計画では構想に先立って市民会議素案が紹介され、資料に続いて前期計画が紹介されている。つまり、本題である構想，計画の前後にそれらの根拠となる素案や統計資料が同列で紹介されているため，計画書を巻頭から読み進めると，どうしても本題とその根拠を比較させるような構成となってしまう。しかも，素案と構想は課題に対する分類が異なるため（素案6項目→構想4項目）その対応がとりにくく，結果として読む側のフラストレーションが高まるように思える。 <p>ここは，今川先生のご提案にあるように，素案と，統計資料を末尾にまとめてはどうか？</p>	<p>【10/2時点での事務局での対応】 (審議会での議論を待つ。)</p>

2 まちづくりの定義

該当か所	意見			事務局での対応
基本構想 資料 7-0921-03 P.3 資料 7-0921-04 P.3	<ul style="list-style-type: none"> 「市民も行政もともに基本構想や基本計画を共有し、その上でお互いの役割を尊重し、協働して芦屋の特色を引き出すことで、芦屋らしい「まち」を創造していくことができる。 そのためには、これまでと全く行政上の観点から行政活動が展開されることもあったが、改めて市民の目線を尊重して、市民と行政との関係改善や市民相互の責任ある自発的な社会公益的な活動を促進させることが大切である。 継続してこのような市民と行政とのより良い関係が創造されていけば、市民は歴史、文化、自然を享受し、さらにより豊かな暮らしを実感することになるであろう。こうして芦屋らしい「まちづくり」の定義が構築されていくのである。こうした意味を込めて、ここでは「まちづくり」と称している。 			【10/2 時点での事務局での対応】 (審議会での議論を待つ。)
基本構想 資料 7-0921-03 P.3 資料 7-0921-04 P.3	原文 この計画は市民と行政の協働で策定してきましたが、「まちづくり」とは何か。芦屋ならではの定義をしようということになりました。	訂正案 この計画の中では「まちづくり」、「市民」、「協働」を以下のように定義しました。	備考 定義に至った経緯をあえて記述する必要はないと思います。	
基本構想 資料 7-0921-03 P.3 資料 7-0921-04 P.3	この計画における「まちづくり」とは、市民目線で描かれた芦屋の将来像や目標とするまちの姿を市民と行政が共有し、それぞれの役割を果たしながら継続的に取り組むことをいいます。	この計画における「まちづくり」とは、今後 10 年間芦屋市が目標とするまちの姿を市民と行政が共有し、それぞれの役割を果たしながら継続的に取り組む活動全てをいいます。	市民目線で描かれた こととわる理由はないと思います。	

3 基本構想のその他

該当か所	原文	意見	事務局での対応
基本構想 資料 7-0921-03 P.23 資料 7-0921-04 P.20 3 - 2 8つめの	市民と市民、市民と行政が信頼し協力するために、市民発の情報や行政発の情報をうまく組み合わせ、わかりやすく発信していく。	→ この項目に対する具体的な目標の姿が3-4章に見つけられないのですが、どの部分が該当するのでしょうか？	【10/2時点での事務局での対応】 (基本計画の第1章「施策目標1-1」で記載している。)
基本構想 資料 7-0921-03 P.23 資料 7-0921-04 P.20 3 - 2 9つめの	様々な視点を横断的にうまくつなげる	→ この項目に対する具体的な目標の姿がイメージできません。どのような姿を前提としているのでしょうか？もしくは、この項目は不要ではないでしょうか？	【10/2時点での事務局での対応】 (「横断的な視点」を持つことは、基本計画の第4章「施策目標14-2」の14-2-3で記載している。)

該当か所	原文	訂正案	備考	事務局での対応
基本構想 資料 7-0921-03 P.26 資料 7-0921-04 P.24 3 - 4 リード文	しかし、目指す芦屋の姿の実現に向けて行政が背さくを進めるためには、施策ごとに専門性を持った組織としての取組や計画の進行管理が必要です。 このため・・・	(削除) この結果、	施策の分類が組織ありきのように読まれる可能性があるため、記述しないほうが良いと思います	【10/2時点での事務局での対応】
基本構想 資料 7-0921-03 P.26 資料 7-0921-04 P.24 目標 1	まちはその暮らす一人ひとりの意識や行動によって住み良いまちになっていきます。日ごろの挨拶やマナーを守ること、住み良いまちづくりにつながります。このような中、自治会などによる地域活動に退職後の世代が容易に参加でき、活動する人が増えることがこれからの地域作りの鍵となっています。	市民一人ひとりの思いや活動がつながって住み良いまちに変わっていきま す。日ごろのあいさつから始まってマ ナーやルールに発展していくこともあ ります。このような活動が、自治会な どによる地域活動の活発化の起爆とな り、	意図する内容をなるべく変えずに、市民の自主性に重点を置いた記述にしました。 前期計画の中には退職後の世代についての施策が特に書かれていないので、削除しました。	【10/2時点での事務局での対応】

該当か所	原文	訂正案	備考	事務局での対応
基本構想 資料 7-0921-03 P.26 資料 7-0921-04 P.24 目標 1	隣近所とのあいさつや声を掛け合える付き合いから発展し、地域活動に気軽に参加できる工夫で潜在的な市民の力が引き出され、新たに参加する人が増え、さらに活発になり、自立した活動となって地域の力が高まる必要があります。	気軽に地域活動に参加する人が増える ことで、潜在的な市民の力が引き出され、自立した活動となって地域の力が高まることにつながります。	市民の自主的な思い・活動 地域活動の活発化 参加する人の増加 地域力の向上という流れをより簡潔に記述できないか試してみました。	【10/2 時点での事務局での対応】
基本構想 資料 7-0921-03 P.26 資料 7-0921-04 P.24 目標 1	そのためには、様々な施策において主体的な市民活動を活発化させ、交流に結びつけることを念頭において進めていくことが重要であると考えます。	そのためには、 市民と市民，市民と行政の情報の共有化，相互の意見交換の できる仕組みづくりとそれぞれが持つ ネットワークの連携を深める ことが重要であると考えます。	前期計画の内容に展開できるよう情報についても記述を追加しました。 基本的に、構想で述べられる方向性の中で、“そのためには”以下の記述は前期計画中の施策につながる記述でない、関連性が見えにくくなる と思います。 以降の提案は、この点を重点的に対比した結果、わかりにくい部分について訂正を提案しています。	【10/2 時点での事務局での対応】
基本構想 資料 7-0921-03 P.28 資料 7-0921-04 P.25 目標 2	そのためには、芦屋の歴史を知ること、郷土としての愛着を深めることや、自分を高めるための学習の機会を豊富にし、その学習を通して様々な活動へとつなげていくとともに、文化的資源を活用し、表現できる環境を整え、多様な文化・芸術・伝統が交流することが重要であると考えます。	そのためには、 市民が日頃から芸術・文化・スポーツに親しむ機会を豊富にする とともに、 多様な文化への理解と見識を深めるために外国人市民との交流を促進する取組みを進めていきます。 文化的資源を活用し、表現できる環境を整え、多様な文化・芸術・伝統が交流することが、郷土としての愛着を深めることにつながると考えます。	外国人との交流を追加しました。 このような文化活動が充実した生活に反映して芦屋への愛着につながるという表現としました。	【10/2 時点での事務局での対応】

該当か所	原文	訂正案	備考	事務局での対応
基本構想 資料 7-0921-03 P.30 資料 7-0921-04 P.26 目標 4	しかし、社会全体の行き詰まり感の子供たちへも影響を及ぼし、自分の将来に夢や希望を持ってない子供たちが増えていきます	(削除)	可能性としては否定しませんが、一般的な状況を述べているか議論の余地があると思いますので、削除してはいかがでしょうか？	【10/2 時点での事務局での対応】
基本構想 資料 7-0921-03 P.31 資料 7-0921-04 P.26 目標 4	また、青少年を中心としたニートや引きこもり 薬物乱用等が大きな社会問題になっており、社会全体で青少年の健全な成長を支える体制づくりをさらに進めていくことが重要であると考えます。	そのためには、青少年が望ましい職業観、勤労観を持ち、社会で自立して生きていく力を身につけていくための取組とともに、近年、有害図書や薬物、ネット被害など青少年を取り巻く環境の悪化への対応も必要になっていきます。	構想としては社会問題への対応を主題とするよりも、青少年全体(いい子も悪い子もいる)を対象とした記述のほうが無難ではないかと思えます。訂正案は前期計画から引用しています。	【10/2 時点での事務局での対応】
基本構想 資料 7-0921-03 P.33 資料 7-0921-04 P.27 目標 6	しかし、現代の社会生活の中では、誰もが生活習慣病やこころの病、感染症などの脅威にさらされています。	(削除)	可能性としては否定しませんが、一般的な状況を述べているか議論の余地があると思いますので、削除してはいかがでしょうか？	【10/2 時点での事務局での対応】
基本構想 資料 7-0921-03 P.33 資料 7-0921-04 P.27 目標 6	そのためには、生涯を通じた健康づくりへの取組を週間にし、また、病気やけがだけでなく、気軽な相談も含めた信頼できる芦屋の地域医療が確立され、適切な診療が受けられることが重要であると考えます	そのためには、生涯を通じた健康づくりへの取組の継続と、生活習慣病の予防や願の早期発見のために健康診査や検診の受診率高めるなど予防医療について取り組みます。また、病気やけがだけでなく、気軽な相談も含めた信頼できる芦屋の地域医療の充実と近年対策を必要としている食育や心の健康についても取り組んでいきます。	前期計画に対応して、施策の範囲を拡大して記述しています。	【10/2 時点での事務局での対応】

該当か所	原 文	訂正案	備 考	事務局での対応
基本構想 資料 7-0921-03 P.34 資料 7-0921-04 P.28 目標 7	<p>しかし、公的なサービスでは個々のきめ細かなニーズすべてに対応することには限界があり、家族構成の変化や価値観の多様化によって希薄化している地域のつながりを強め、支え合いや助け合いができる地域社会を築いていく必要があります。</p>	<p>(削除)</p>	<p>一般的な状況とは言い難いので、削除を提案します。</p>	<p>【10/2 時点での事務局での対応】</p>
基本構想 資料 7-0921-03 P.34 資料 7-0921-04 P.28 目標 7	<p>安心して住み続けるためには、誰もが人間としての尊厳を持ち 地域の一員としてその人らしい自立した生活が送れるよう、身近なところで様々な相談ができ 状況に応じて的確な支援が得られる保険・医療・福祉の連携体制が確立していることや、行政による公的サービスだけでなく、日頃からの理解や気遣い,支え合い 事業者やボランティアなどによる地域のつながりや様々な資源を活用していくとともに、障がいや介護を必要とする状態などについて正しい理解を得ながら社会とかかわり 能力を最大限発揮し 生きがいを持って暮らしていけることが重要だと考えます。</p>	<p>安心して住み続けるためには、誰もが人間としての尊厳を持ち 地域の一員としてその人らしい自立した生活が送れるよう、身近なところで様々な相談ができ 状況に応じて的確な支援が得られる保険・医療・福祉の連携体制が確立していることが必要です。行政による公的サービスだけでなく、日頃からの理解や気遣い,支え合い,事業者やボランティアなどによる地域のつながりや様々な資源を活用していくとともに、障がいや介護を必要とする状態などについて正しい理解を得ながら社会とかかわり 能力を最大限発揮し 生きがいを持って暮らしていけることが重要だと考えます。 そのためには、介護や支援を必要とする人に近い視線で、地域で活動する人々を支える保険・医療・福祉の関係者との連携を推進するとともに、障がいへの正しい理解を促進する仕組みや相談窓口,障がい福祉サービスの充実,就労支援などに取り組んでいきます。</p>	<p>文章を 2 分しました</p> <p>他の記述と文調を合わせるために、そのためには以下の文章を追加しました。 追加した文章は前期計画中から抽出しています。</p>	<p>【10/2 時点での事務局での対応】</p>

該当か所	原文	訂正案	備考	事務局での対応
基本構想 資料 7-0921-03 P.36 資料 7-0921-04 P.28 目標 8	<p>また、年々増加する子供を巻き込む犯罪は、社会問題にもなっており、それらへの取組については、子供にいる家庭から強く求められています。</p> <p>一方、これらの情報がテレビや新聞などのマスコミで報道されてはいますが、自分は大丈夫と考えて身近なこととして受け取れていない現状もあります。</p>	<p>また、年々増加する子供を巻き込む犯罪は、社会全体の問題として強く対策が求められています。</p>	<p>可能性としては否定しませんが、一般的な状況を述べているか議論の余地があると思いますので、簡潔化してはいかがでしょうか？</p>	<p>【10/2 時点での事務局での対応】</p>
基本構想 資料 7-0921-03 P.36 資料 7-0921-04 P.28 目標 8	<p>暮らしの安全を保つためには、一人ひとりが生活の知恵や防犯意識を大切に、自らが危険回避できる力を養うとともに、その意識を地域全体の防犯につなげていくことが重要であると考えます。</p>	<p>そのためには、安全教育や犯罪情報、安全情報の提供や、防犯協会などの関係団体、警察などの関係機関と連携するとともに、地域と協力して安全・安心なまちへの取組を進めます。</p>	<p>前期計画に即した記述に変更しました。</p> <p>防犯意識を高めるための施策を中心に記述しています。</p>	<p>【10/2 時点での事務局での対応】</p>
基本構想 資料 7-0921-03 P.38 資料 7-0921-04 P.29 目標 9	<p>その一方で、それらの資源や情報を有効に活用し、万が一のときに的確に行動できる地域の体制づくりを進めるとともに、震災後に転入してきた市民や震災を知らない世代が増えたこともあり、災害に対する危機意識が薄れないための取組が必要となっています。</p>	<p>芦屋市は阪神・淡路大震災で被災し、復興を果たした数少ないまちとして震災の教訓を薄れさせず強く伝えていく使命を負っています。</p>	<p>芦屋市民としてのこだわりです。</p> <p>皆さんの意見はいかがでしょうか？</p>	<p>【10/2 時点での事務局での対応】</p>
基本構想 資料 7-0921-03 P.38 資料 7-0921-04 P.29 目標 9	<p>(最終行以降に追加)</p>	<p>そのためには、六甲山麓や芦屋川、宮川などの安全性を高める事業を継続し、公共施設、民間住宅の耐震化など最新の防災への取組を進めます。</p>	<p>前期計画からの抜粋です。</p>	<p>【10/2 時点での事務局での対応】</p>

該当か所	原文	訂正案	備考	事務局での対応
基本構想 資料 7-0921-03 P.40 資料 7-0921-04 P.30 目標 1 0	しかし、平成 7 年（1995 年）に発生した阪神・淡路大震災によって多くの尊い命が失われ、まちは壊滅的なダメージを受けましたが、市民の復興を願う力によって立ち直ってきました。	（削除）	前後の文章とのつながりが希薄な記述であり、特にここで記述する必要は無いのではないのでしょうか？ 阪神・淡路大震災は防災として取り上げるほうが文章として自然のように思えます。	【10/2 時点での事務局での対応】
基本構想 資料 7-0921-03 P.41 資料 7-0921-04 P.31 目標 1 1	そのためには、一人ひとりがマナーを守ること 町を汚しにくい雰囲気にと、緑を増やすだけでなく、地球温暖化を止める暮らし方を意識して行うことも重要であると考えます。	そのためには、一人ひとりがマナーを守ること 町を汚しにくい雰囲気にと、緑を増やす 取組みを進めます。 また、省エネルギーやカーボンフリー化など、地球温暖化を止める暮らし方を意識して行うとともに、ごみの減量化、再資源化など環境負荷低減に向けての取組みも重要であると考えます。	今後社会的に重要度の増すと思われる温暖化防止や環境負荷低減についても住宅都市としてどのように対応できるか目を向けていく必要があると思います。	【10/2 時点での事務局での対応】
基本構想 資料 7-0921-03 P.44 資料 7-0921-04 P.32 目標 1 3	（最終行以降に追加）	そのためには、 既存施設の老朽化状況や対処が必要な部分の洗い出しを行い、優先順位をつけながら暮らしに必要な都市施設が安全で快適に利用できるよう、計画的な改良や維持管理に取り組んでいきます。 また、既存の民間戸建住宅や集合住宅の耐震化やバリアフリー化の促進、維持管理のための相談体制や情報提供の充実などに取り組んでいきます。	前期計画からの抜粋です。	【10/2 時点での事務局での対応】

該当か所	原 文	訂正案	備 考	事務局での対応
基本構想 資料 7-0921-03 P. 資料 7-0921-04 P.33 目標 1 4	<p>そのためには、行政は、市民が何を求めているかを問いかけながら取り組むことはもちろん、市民と行政がともに考える機会を増やし、協働のまちづくりを通して確実な成果につなげていくことが重要であると考えます。</p>	<p>市民と行政が芦屋市の現状を理解し、共にまちづくりを考え、お互い役割を果たしながら、継続的に協働していくことが必要です。</p> <p>そのためには、市民が市政に関する情報を手に入れられ、市民からの提言が行政に届くネットワークの構築と、市民と行政がともに考える機会や協働のまちづくりの成果を共有できる仕組みづくりに取り組んでいきます。また、その時々市の状況に応じた柔軟な組織運営と職員一人ひとりの資質を高める努力を継続します。</p>	<p>市民会議からの提言を少し加味しました。</p> <p>情報の共有化が最初のステップと考えています。</p>	<p>【10/2 時点での事務局での対応】</p>

4 「市民に望むこと」の表現

該当か所	意 見	事務局での対応
基本計画 「市民に望むこと」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「市民に望むこと」が、「目標に向けて市民が共に取り組むこと」となって基本的にはいいと思います。ただ、今回の計画がもともと「協働と参画」を基本としているのですから「共に」というのはやや違和感があります。それと、「・・・こと」というのはやや語感として硬いかもしれません。もともとの趣旨をいかせば、次のような表現でいかがでしょう。 <p style="text-align: center;">「市民主体による取り組み」</p>	<p>【10/2 時点での事務局での対応】 (審議会での議論を待つ。)</p>

5 前期基本計画のその他

該当か所	意 見	事務局での対応
基本計画 資料 7-0921-05 P.72 資料 7-0921-06 P.70	<ul style="list-style-type: none"> 4-1-1・3 つめの(・)「学力差を解消」とありますが、修正では「学力差を縮小」になっていた。 	【10/2 時点での事務局での対応】 「学力差を縮小」に修正する。
基本計画 資料 7-0921-05 P.98 資料 7-0921-06 P.92	<ul style="list-style-type: none"> 10-1-2 「安全に芦屋の自然と安全に」となっており後者の「安全」が消し忘れている。 	【10/2 時点での事務局での対応】 後者の「安全」を削除する。